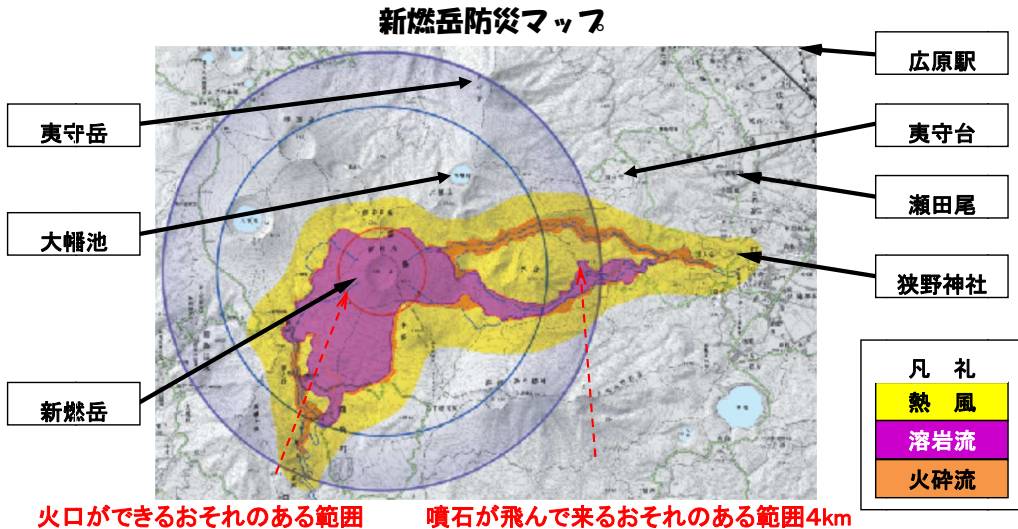


# 「新燃岳噴火に関するお知らせ」

霧島連山の新燃岳は、平成30年3月1日(木曜) 昨年(29年)の10月以来噴火しました。3月10日(土曜)の爆発的噴火では、噴煙は最高4,500mまで上がりました。上空からの観測によると火口内は溶岩で覆われ、火口から北西部へ流出が確認されました。火山性微動は3月1日から継続して発生しており、振幅の大きな状態が続いています。火山性地震は多い状態が続いています。また、浅い場所を震源とする低周波地震も発生しており、空振を伴う振幅の大きな地震もみられます。気象台は、噴火警戒レベルを「レベル3」、警戒範囲を4kmに拡大して注意を呼びかけています。下図は、新燃岳噴火のハザードマップです。ピンクは溶岩流、オレンジは火砕流、黄色は熱風の範囲を示しています。



火口ができるおそれのある範囲 噴石が飛んで来るおそれのある範囲4km

## ○火山に関する用語について

- 噴火
 

火山現象として火口外へ固形物(火山灰、岩塊等)を放出又は、溶岩等を流出する現象をいいます。
- 爆発的噴火
 

噴火の一形式で、地下の高温や高压源で内圧が拡大して起こり、音響とともにガス、水蒸気、溶岩等を放出し、空振を伴う現象です。(一般に爆発と略することが多い)
- 空振
 

噴火(爆発)等により発生する空気(大気)の震動です。窓ガラスが割れることもあります。
- 溶岩流
 

火口から噴出したマグマが液体のまま地表を流れる現象です。速度は地形や溶岩の粘り気により異なりますが、比較的ゆっくりのため人が歩いて避難することもできます。温度は、1,000度をこえ建物、道路、森林を埋没させることもあります。

- 火砕流
 

火山灰や岩塊、空気や水蒸気为一体となり急速に山体を流下する現象です。火砕流の速度は時速数十kmから数百km、温度は数百度にも達し火砕流発生後の脱出は不可能です。火砕流は地形により異なりますが破壊や焼失等破壊力の大きな恐ろしい火山現象です。
- 火山性地震
 

火山の周辺で起こる地震をいいます。マグマの移動や火山ガスの移動・膨張・収縮、また爆発に伴うものなどいろいろな振動波形が観測されます。
- 火山性微動
 

火山特有の震動で波形や継続時間から地震と区別されます。地震が地殻の破壊に対応する現象に対し、マグマや水蒸気の流れや沸騰する過程で発生すると考えられます。継続時間は時には数日間にも及ぶこともあります。噴火に先行することが多く噴火予知上きわめて重要な火山現象です。

## ○火山情報の確認法について

火山情報を確認する方法はいくつかありますが、インターネットとテレビによる確認法についてお知らせします。

### 1 インターネットでの降灰予想を確認する方法

宮崎地方気象台で検索

気象情報・注意報など	地震・津波・火山	レーダー、アメダスなど
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 気象情報・注意報 (宮崎県)</li> <li>• 気象情報 (宮崎県気象情報)</li> <li>• 洪水予報</li> <li>• 土砂災害警戒判定メッシュ情報・大雨警報(浸水害)の危険度分布・洪水警報の危険度分布</li> <li>• 土砂災害警戒情報</li> <li>• 竜巻注意情報</li> <li>• 海上警報</li> <li>• 台風情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 津波警報・注意報、津波情報</li> <li>• 地震情報</li> <li>• 南海トラフ地震に関する情報</li> <li>• 宮崎県の地震について</li> <li>• 宮崎県地震活動概況</li> <li>• 噴火警報・予報</li> <li>• 霧島山の噴火警戒レベルに対応した規制範囲</li> <li>• 火山カメラ画像</li> <li>• 量的降灰予報</li> <li>• 火山の状況に関する解説情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• レーダー降水ナウキャスト</li> <li>• 雷ナウキャスト</li> <li>• 竜巻発生確度ナウキャスト</li> <li>• 風解凍度降水ナウキャスト</li> <li>• 解析雨量・降水短時間予報</li> <li>• アメダス(気温、雨量、風向風速、日照時間)</li> <li>• 気象衛星</li> <li>• 天気図</li> <li>• 黄砂情報</li> <li>• 紫外線情報</li> </ul>
天気予報など		
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 天気予報 / 週間天気予報</li> <li>• 時系列予報 / 分布予報</li> <li>• 季節予報</li> <li>• 異常天候早期警戒情報</li> </ul>		

新燃岳を中心に降灰予想等が確認できます。

### 2 NHKデータ放送で確認する方法

- ① NHK総合テレビ「1ch」 データ放送画面にする。
- ② 「PM2.5・桜島・新燃岳」を選択。決定
- ③ 「桜島・新燃岳 降灰」を選択。決定
- ④ 降灰予想桜島から「次の火山」決定
- ⑤ 「青」ボタンを押す。

これで完了。降灰予想が確認できます。

## ○降灰がひどいときの予防について

- 自動車の運転を控える。  
降灰や巻き上げられた火山灰で視界が悪くなります。どうしても運転する場合は、十分な車間距離を保ち徐行運転を心がける。
- できるだけ外出を控える。  
外出する場合は、マスク、帽子（ヘルメット）、長袖などを着用するとともに、傘等も利用する。

## ○子供のための予防策

- できるだけ子供を室内で遊ばせる。
- 火山灰の激しく巻き上がる場所で、激しい運動をしないよう助言する。
- 外出するときは子供用マスクをつけさせる。

## ○普段から気をつけること

- 帰宅したらうがいをする。
- 手や顔についた火山灰は洗い流す。
- 髪や衣服についた火山灰は家に入る前に払い落とす。
- 火山灰が目に入ったらこすらず洗い流す。とれないときは眼科医で受診する。
- 火山灰を吸い込み呼吸器系の症状が出た場合は、呼吸器系の医療機関で受診する。

## ○自動車に関する注意

火山灰のついた車をタオルなどで拭くとボディに傷が付きます。拭かずにエアーまたは水圧で落としてから水で洗い流す。またワイパーを使うとガラスに傷が付きまので、水で洗い流してから対処する。

## ○清掃で気をつけること

- ガラスや陶磁器、アクリルの表面は、強く拭きすぎると傷がつくことがあります。洗浄液で濡らした布やスポンジで、こすらずに軽くはたくようにします。
- 火山灰がついた布は流水ですすいだ後によく洗うか、もしくは、屋外で火山灰をたたき落とす。
- 火山灰で汚れた衣類を洗うには、普段以上の洗剤が必要になります。衣類が水の中で自由に動くゆとりがあるように、少量の衣類をたっぷりの水で洗います。洗う前にはブラシをかけるか、パタパタと振って火山灰を落とします。
- 固い床を清掃するときには、濡らしたモップか布を使います。

## ○降灰による火山灰の処理ゴミについて

- 現段階での、「火山灰」については、「小林市指定ゴミ袋」に火山灰だけ（他のものを混ぜないで）入れてごみ集積場に出してください。
- 大きな噴火に伴い多量の降灰になった場合には、別途対応になります。

## ○火山ガスに関する注意事項について

硫化水素		二酸化硫黄	
温泉地帯によく感じられる臭い。かなり敏感な人は低濃度で匂いを感じるが危険な濃度になると匂いを感じなくなり注意が必要。		非常に刺激が強く喘息のある方、心臓の悪い方は10～20PPMで発作を起し危険な状態になる場合がある。	
濃度 ppm	生理現象	濃度 ppm	生理現象
1～2	かすかな匂いを感じ	0.5～1	臭気を感じる
3	卵の腐った匂い	2～3	刺激臭となり不快感
5～8	非常に不快な臭気	5	許容範囲
10	許容範囲	10	鼻、喉を刺激咳を起こす
500	急性中毒、失神、呼吸麻痺	30～40	呼吸困難となる

※ 心臓病の方や気管支系の障害のある方は低い数値でも症状が出る場合があります。

### □ 火山ガスで注意すること

- ① 風が弱い日はガスが滞留し濃くなりやすい。
- ② 火山ガスは空気より重く低いところへ集まる。お子さんは注意が必要。
- ③ 匂いがしたら赤ちゃんはベビーカーより抱っこする。
- ④ 匂いがしたり喉の痛みや目の刺激を感じたらその場を離れる。
- ⑤ 硫化水素や二酸化硫黄中毒では倒れてからは手遅れです。特別な装備なしで救助へ向かうと二次災害を招きます。

## ○小林市防災・防犯メールの登録をお願いします

- 気象庁から発表される火山情報や小林市からの火山対策に関する情報を随時発信します。登録がまだの方はぜひ登録をお願いします。

右のQRコードを読み取り空メールをお送りください。 →→→→



QRコードが読み取りできない方は『[t-kobayashi@sg-m.jp](mailto:t-kobayashi@sg-m.jp)』あてに直接空メールをお送り下さい。

新燃岳噴火に対する 問い合わせ		
噴火全般に関すること	危機管理課	23-1175
降灰処理に関すること	生活環境課	23-8122